

図書の時間のルールづくりで、教員との関わりを深める

対 象 小学校1年～6年

所要時間 45分(準備時間含まず)

単 元 名 図書の時間

目的・ねらい

- 読み聞かせの効果を活用して、児童と本をつなげるとともに、児童の学習規律意識を育てる。
- 児童が落ち着いて静かに読む場を提供し、読書の楽しさを味わわせる。
- 図書の時間のルールを作成し、学校全体で共有、協働することで、教員との関わりを深める。

実践内容	物品	留意点
〈提案〉 「聞く力」が弱い、落ち着きがなく学習規律意識を育てる必要があるという課題があり、どのようにすれば、落ち着きのない学級でも「読み聞かせ」ができるのだろうか？ 長く読み継がれてきた古典的な絵本を読み聞かせしたいと思っけていても、騒がしすぎて聞けない。 学校で一番落ち着きのない学年に焦点をあて、図書の時間の読み聞かせで、児童の興味関心の実態に合わせたものとして「ナンセンス絵本」や「ユーモア絵本」、「赤ちゃん絵本」、「うた絵本」を使ってみたところ、最初3～4人しか集まらなかった児童が、7人、10人、15人…と少しずつ増えていき、最終的には全員が集まるようになり、児童をひきつけることができた。 半年くらいかかったが、児童の聞く力が育ち、貸出冊数も増え、各学級担任と学校司書とではなし会(月例)を開催できるまでになった。 このことをきっかけとして、読み聞かせの効果を活用することで、学校全体の図書の時間のあり方を提案することにつながった。	別紙図書リスト参照	
〈相談〉 図書の時間が貸出返却だけで終わってしまうという学級が多くあるため、ほとんどの学級で「読み聞かせ」ができない状況であった。 そのため、どの学級でも読み聞かせを実施したい旨を、学校司書が、管理職に相談すると、管理職から、教員の協力が不可欠である「図書の時間の流れを学校全体で統一」することを提案された。		
〈準備〉 図書の時間の流れを学校全体で統一するために、図書主任と学校司書が原案を作成した。 図書主任が企画会・職員会議で提案し、図書の時間の流れを学校全体で統一するということが決められた。また、その手立てとして行うことにした読み聞かせの効果(集中すること、落ち着くこと、人の話を聞くこと、想像すること、楽しむことなど)が学習規律の育成に役立つことを期待した。		学校司書が独自で考えるのではなく、図書主任と共に考え、必ず管理職にも確認してもらいながら進める。

〈実践〉 全学年・全学級で、以下の図書の流れを実施する。 <u>図書の時間の流れを学校全体で統一</u>(学校全体での共通認識事項) 【図書の時間の流れ】 ① 始まりのあいさつ ② 【がっこうとしゃかん5つのルール】(※)を唱える ③ 読み聞かせ(10分～15分) ④ 返却 ⑤ 貸出 ⑥ 全員が着席し、静かに読みふける ⑦ 本を整える(終わり 5 分) ⑧ 終わりのあいさつ (※)【がっこうとしゃかん5つのルール】 1. ほんは たいせつに よみましょう 2. くつは げたばこに そろえてから としゃかに はいりましょう 3. としゃかんで は しずかに しましょう 4. ほんは かならず ただしい ばしょに もどしましょう 5. つかった いすは もとに もどしましょう		図書の時間の流れでは、行動場をひとつずつ区切ることで、児童に、次に何をするのかを意識させる。 「始まりのあいさつ」と「終わりのあいさつ」をすることで、児童が休み時間と図書の時間での気持ちの切り替えができるようにする。 【がっこうとしゃかん5つのルール】は、児童の学習規律を育てることがねらい。
〈結果／児童生徒・教職員の反応〉 ● 全学年・全学級で「読み聞かせ」ができるようになった。 ● 図書の時間に、静かに本を読む場を提供できるようになった。 ● チャイムが鳴ると、すぐに担任と児童が来館するようになった。 ● 管理職と担任、図書主任と学校司書が協力し合って、学校図書館運営を前向きに進めていけるようになった。 ● 「図書の時間の流れを学校全体で統一」することで、落ち着きのない学級が落ち着き始め、話を聞く態度が養われてきた。 ● 【がっこうとしゃかん5つのルール】を毎回唱えることで、児童に学習規律が育ち始めた。また、担任も この5つのルールを守っている。 ● 学校司書が担任とよい関係を築くことができるようになり、また、連携もうまく取れるようになった。また、児童と学校司書との信頼関係も築けるようになった。 ● 担任が、児童とともに「読み聞かせ」の時間と空間を共有し、共に本を読むようになった。 ● 学校全体、教員が協力的になり、学校司書と各学級担任とで開催する「おはなし会」というイベントができるようになった。「おはなし会」には管理職や教務主任も参加するようになった。 ● 児童が「読み聞かせ」や「おはなし会」を大変楽しみにするようになった。		